

## 町史だより

〳 小那覇エイサー 〳

旧暦の七月一三、一四、一

五日（今年は新暦八月一〇、

一一、一二日）の旧盆の夜、

県内各地でエイサーが行なわ

れました。エイサーは、沖縄

本島中部地方が最も盛んで、

続いて北部地方、南部地方に

おいてはわずかの字でしか残

っていません。（注）町内で

は小那覇の他、兼久、内間団

地の青年たちによるエイサー

が行なわれています。

今回は、その中で小那覇青年会のエイサーを紹介します。

小那覇エイサーは、青年四人が「エイサーをやりたい」

と活動をはじめ今年で三年目になります。それから、北

谷町栄口エイサーの振り付けを学び、同じく栄口エイサー

の振り付けを取り入れている浦添市仲間青年会と練習を共

にしながら、今日の小那覇エイサーに至っているそうです。

小那覇エイサー、仲間エイサー、共に振り付けは栄口エ

イサーと同じですが、「栄口節」という曲にそれぞれの青

年会が歌詩をふり、独自性をだしています。小那覇節の歌

詞は、地方の泉川寛さんによつて作られました。一番をこ紹介します。

後間毛くさて 黄金原前なち

あん美らさ村ぬ 栄る嬉りさ

我した小那覇村 イースリー

スリー

美しい小那覇の集落が浮か

びあがる歌詞ですね。

小那覇エイサーは、中日の

一四日とウークイ（精霊送り）

の一五日に行なわれます。中

日は公民館から北側の後組、

ウークイの日は公民館より南

側の前組を中心に巡回します。

「はじめは人集めや資金集めの他、「うるさい」などの苦

情も多くて大変だったよ。だ

けど、今では子どもがパーラ

ンクーを持って一緒に踊った

りするよ。」と、新川自治会長

は活動当初の苦勞を語ってく

れました。

現在では、小那覇青年会と

町内の兼久青年会、内間団地

青年会と交流が盛んで、振り

付けを習った北谷町栄口青年

会や浦添市仲間青年会とも互

いに練習を行き来するなど、

深い友好関係を築いています。

また、去る二月一二―一三日

に、ホテルグランピア京都で

演舞したのをはじめ、モノレール開通の記念式典で踊ったり、町内外を問わず活発な活動をしています。

新川自治会長は、伝統とは、何年経ったから伝統とかそういうもんじゃないんじゃないかな。」と話しておられました。

今年で三年目の小那覇エイサーは、お盆の風物詩として

小那覇の夜を華麗に彩るだけ

ではなく、着実に、小那覇の

伝統として築かれていくこと



小那覇エイサーの出演者（'03.08.12 撮影）

注 聞き取り／新川勝夫小那覇区自治会長  
『沖縄文化史辞典』六一ページ

（大城）